

# 情報発信ステーション

第134号



社会医療法人 緑社会  
**金田病院**

- みどり訪問看護ステーション
- 指定居宅介護支援事業所みどり

公益財団法人

日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定施設

公益社団法人 日本人間ドック学会

〒719-3193 岡山県真庭市西原 63

TEL (0867) 52-1191(代) FAX (0867) 52-1917

http://www.kaneda-hp.com

## 新年のご挨拶



社会医療法人 緑社会  
理事長 **金田 道弘**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

安倍総理は、第195回国会の開会における所信表明演説で、緊迫する北朝鮮情勢と、急速に進む少子高齢化を「国難とも呼ぶべき課題」と位置づけ、政策の実行で未来を切り拓くと宣言しました。加藤厚生労働大臣は、衆院厚生労働委員会で、質が高く効率的な医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の達成に向けた取り組みを一層進めるとしました。

史上類を見ない人口減少・少子高齢化の波は、田舎↓地方都市↓大都市の順に襲い、真庭市の人口は、昭和35年から55年間に約40%減少しました。時代変化の最前線に位置する私たちの病院では、人口減少に適合的に計約40%のダウンサイジング(入院病床の減床)を行いました。私たちは限られた資源を、医療、在宅支援、人間ドック健診に集中し、介護施設は設けず、地域の介護施設と積極的に連携していく道を選択しました。医療圏唯一のDPC対象病院として、救急搬送は出来る限りお断りしない方針で努力してきました。岡山県内の病院で初の社会

医療法人に認定されたのも救急要件によるものでした。

地域医療構想の策定は昨年3月までに全国の都道府県で完了し、現在は、それぞれの地域医療構想区域毎の地域医療構想調整会議において、高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4つの病床機能毎に機能分化し、効率的かつ効果的で持続可能な医療提供体制に、私たち自らが作り変えていくための協議が行われています。

私たちは、地域の皆さまに将来にわたり安心医療をお届けするために、①最も近い落合病院はじめ地域の医療機関・介護施設等と緊密に連携し、役割分担を一層進めます。②私たちの使命である質の高い、医療(救急・急性期DPC病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟)、在宅支援(訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所)、人間ドック健診の各分野で、私たちの役割と責任を果たします。③地域医療への貢献を目指し日夜努力するスタッフの勤務環境改善に全力で取り組みます。

優秀な、医師・看護師・薬剤師等医療専門職の確保は長年の課題です。その中で、平成29年4月に岡山大学医学部地域枠卒業

1期生の山本高史医師が、真庭に赴任したことは何よりの朗報でした。研修医・医学生・看護学生をはじめ明日を担う医療人の育成支援は、私たちのもう一つの大切な使命と考えています。引き続き皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。皆さまが寄せくたさるあたたいご支援に心より感謝を申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

### 今月の地域医療研修医師 (五十首順)



岡山赤十字病院  
よしかわ 吉川 知輝



川崎医科大学総合医療センター  
石田 雄大



津山中央病院  
藤井 祐里花

### 今月の学生実習 (五十首順)

○岡山県立真庭高等学校  
専攻科

11名

○岡山情報ビジネス学院  
医療福祉事務学科

1名

## 平成 30 年の標語 「時代が求む 医療のかたちを 真庭から」

緑社会の理念  
金田病院の理念  
金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

